

つながりもとめて「ぴんころ男会」結成



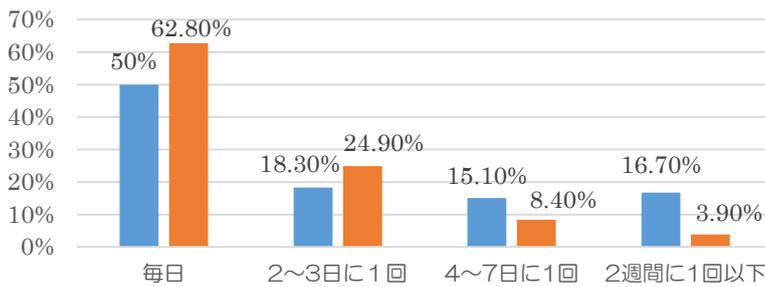
平成26年1月21日 第3回 ぴんころ男会
「おやじのめし会」より “調理はまず買い物から！”



平成26年4月15日 第6回 ぴんころ男会
「古墳散策」より “ガイドボランティアの古墳解説を聞く！”

ひとり暮らし高齢者が増加する中で、特にその生活が心配されるのは積極的に周りとの関わりを持つことが苦手な男性達です。特にひとり暮らしになると実に6人に1人が「2週間人との会話がな」という結果も出されています。そういった男性の孤立を解消するため、男性による男性のための会が結成されました。守山区社会福祉協議会の実施する「高齢者はつつつ長寿推進事業」の男性参加者を中心に昨年の9月より活動をしています。これまでは、唱歌を唄ったり、料理や古墳散策などを行ってきました。今後も、自主的な活動を目指して、楽しく活動できるようにサポートしていきます。

65歳以上単独世帯の男女別・会話の頻度



H24年 厚生労働省調査より ■男 ■女

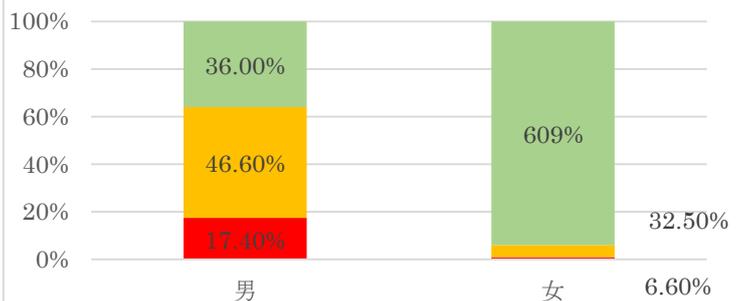
表1

※社協(社会福祉協議会)は、つながりを求める男性達のきっかけ作りを応援しています！

表1.では、65歳以上の男女別会話の頻度を表しており、男性の16.70%(6人に1人)が「2週間に1回以下の会話しかない」とされています。

表2.では、近所づきあいの男女比で男性の64%が「ほとんどない・あいさつする程度」を占めています。

近所づきあい



■ほとんどない ■あいさつする程度 ■親しくつきあっている

H22年 内閣府調査より